



2023-2024 週報

西協ロータリークラブ 2680 地区



No.35 第2813回 令和6年4月8日

今週の歌: 奉仕の理想

プログラム

「会員卓話」 永谷 敏会員

会長 高瀬幸一郎 幹事 東口喜樹

例会日 月曜日 12:30-13:30

例会場 西協ロイヤルホテル 2F Tel:0795(23)2000

事務局 西協商工会議所内

〒677-0015 西協市西協 990

Tel:0795(22)3901 Fax:0795(22)8739

RI テーマ : CREATE HOPE in the WORLD ~世界に希望を生み出そう

新会員紹介

氏名 藤田幸大会員

住所 西協市高松町 633-18

勤務先 富士幸(株)

推薦者 大西会員、高瀬幸会員



推薦者バッチ贈呈

大西義文会員、高瀬幸一郎会員

4月1日(月) 第2812回例会記録

◎出席・・・会員数 48 名 出席 37 名 MU4 名
(出席免除会員 9 名・休会 3 名)

会長の時間

高瀬幸一郎会長

藤田幸大さん。入会おめでとう
ございます。素晴らしいロータリー
ライフをお送りください。54 歳
での入会ということで、本日は歳
のお話にお付き合いください。



54 歳といえば、昭和 44 年に始まった「サザエさん」の波平さんの年齢設定が 54 歳です。奥さんのフネさんは 52 歳です。昭和の名優「石原裕次郎」は 52 歳で他界しましたが、「太陽にほえろ」のボス役はなんと 30 歳代で演じておりました。30 歳代での迫力です。田中角栄は 54 歳で内閣総理大臣になっております。「ヨッシャ、ヨッシャ」の政治家は今の私よりはるか年下で首相です。現在の 54 歳は福山雅治です。50 年前は波平さんです。現在、日本をはじめ多くの国では、高齢者は 65 歳以上と定義されています。1965 年に WHO が 65 歳以上の

人口が全人口の 7%(今の日本は 29%) を超えると高齢化社会と呼ぶとの見解を発表したことがきっかけでしたが、この定義に医学的・生物学的な根拠はありません。当時の欧米諸国の平均寿命は男性が 66 歳、女性が 72 歳だったことから(日本は 63 歳、67 歳)、そのまま受容されたようです。しかし、当時の 65 歳と現在の 65 歳では体力や若々しさが大きく異なると多くの人が感じているのではないのでしょうか。今の 75 歳が昔の 65 歳と相撲を取っても負けないというわけです。医学の進歩や栄養状態の改善などにより人間は昔より元気になっており、75 歳以上を高齢者と定義しても何の不都合もないでしょう。半世紀以上むかしのデータに基づいた 65 歳高齢者説にいつまでもしがみつくと必要はないということです。63 歳の私は勝手に高齢者の定義を 80 歳としております。次世代のために役に立つのなら年齢に関係なく働きたいものです。ただし昔なにをやっていたか、なにができたかではなく、現在の能力、意欲、体力に応じて、それにふさわしい仕事をするのが大前提です。

幹事報告

(来 信)

- ガバナー事務所より、
 - ・会員満足度調査アンケートへのご回答のお願い
 - ・2024-25 年度 RI 第 2680 地区 地区会計(一般会計) 予算案
- 米山梅吉記念館より、館報および賛助会員入会のお願い

(報告)

- ・ガバナー月信のP7、地区補助金(奉仕プロジェクト)報告に2023年12月3日に実施した「発達障害児(LD)の特性理解との関わりに関する講演会」の記事が掲載されておりますので、ご覧ください。
- ・例会終了後、理事会を開催します。

委員会報告

○蘆田裕三副幹事

2024-25年度役員・理事及び委員会構成名簿(案)をお配りしております。誤字等がありましたら、お申し出ください。次年度も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

○親睦活動委員会 笹倉照暉委員長

小旅行のご案内をお配りしています。開催日は6月9日(日)、行先は以前来住泰幸会員が卓話でお話しされました「足立美術館」です。ご家族お揃いで多数のご参加をお願いします。日本一の庭を観に行きましょう！

ニコニコ箱

矢納会員 本日4月1日、卓話30分も頂きました。それも後輩が入会して早々に。よろしくお願いいたします。

蘆田会員 土曜日に次期幹事研修セミナー(SETS)に参加してきました。矢納ファシリテーターにもお世話になり、ありがとうございました。次年度宜しく願い致します。

笹倉会員 昨日はいい御護摩がたけました。

藤田会員 入会を自祝して。

※本日のニコニコ 18,500円

誕生日・結婚記念日・連続出席 18,000円

※本年度累計額(4/1現在) 1,473,595円

🌸 本日の花：アルストロリア

プログラム 「会員卓話」

○矢納利夫会員

みなさんこんにちは。先ほど会長が年齢の話をいろいろされたんですけど、もう一人54歳の方がこのクラブにいらっしゃいます。新入会員の藤田幸大くん



と幹事の東口くんは中学校の同級生だそうです。藤田幸大くんは私の一回り以上離れた東洋大姫路高校野球部の後輩でして、そういうところで後輩が入ってきて、本当にうれしい限りです。それと私も後期高齢者に近づいております。まだまだ頑張らないといけないというところで今日の会長の話を色々聞かせていただいて、余計に頑張ろうという気持ちでありますのでよろしくお願いいたします。

それでは早速ですが、2月半ば頃、みなさんに「アンケート調査」のご協力をお願いし、36名の方にご回答いただきました。本日その結果お配りしております。その中でひとつひとつ考えていきたいんですけど、これは当然現会長もそうですけど、園田エレクトと吉田ノミニーにもぜひとも参考にさせていただきたいなという資料です。みなさんと共有していきたいと思っております。

【アンケート結果】

1. 「当クラブに受け入れられていますか」

これは当然95%近くの方が「はい」と回答されていますが「いいえ」と回答された方がひとりおられました。その理由として「自分がほかの会員と交流する努力をしていない」ということでした。ぜひとも今後頑張っていたいただきたいなと思います。

2. 「あなたは当クラブの組織としての現状をどう思いますか」

一番多いのが、「明るく打ち解けた雰囲気である」と、「現状に満足している」で「堅苦しくよそよそしい雰囲気がある」という方は一人おられましたが、そのへんのところは園田エレクト、努力お願いしたいと思えます。

3. 「あなたは当クラブが国際ロータリーや地区の提唱する下記の活動に参加している度合いについてどう思いますか」

「新会員勧誘活動」について28人が「適当」であるということでした。「過度」というのがオレンジ色で、黄色の「不十分」という答えもあり、「クラブの広報活動」は「不十分」であるが15人(三分の一)おられますので、このへんのところも参考にさせていただきたいなと思います。「米山奨学活動」については「適当」であるという回答が多くありました。

4. 「当クラブの活動に対するあなた自身の参加状況を記してください。」

「例会」に関してはみなさん「積極的に参加」。

「親睦活動」についても「積極的に参加」の方が27人おられます。「委員会活動」も「積極的に参加」の方が25名おられましたが、「義務的に参加」という方も何人かおられるので、ぜひとも参加したいと思っただけのようにしたいと思います。

5. 「あなたはクラブの活動及びプロジェクトへの参加に対し満足していますか？」

「満足」という方が多くおられました。「少し不満・不満足」という方も何人かおられます。

5-2 「少し不満・不満足の場合はどうしてですか。」

何が不満かということで、「自分の知識不足」を理由にあげておられます。先日来から出席委員会の方々に集まっていろんな話をされているそうですが、こういうこともプラス材料と考えていいですね。どんどん委員会ごとに関わる活動というかロータリーの仲間たちが集まって楽しく親睦していただくというのは本当にいいことだと思います。出席委員長さんに感謝いたします。ありがとうございます。

6. 「会員活動に関する費用をどう思いますか？」

「クラブ会費」は「妥当」であるという方が31名、「夜間の例会・ミーティング・委員会の会費」も「妥当」であるのではないかとということでした。「親睦活動・同好会」に関しても「妥当」であるという意見も多かったもので、とても安心しています。ありがとうございます。

7. 「あなたは毎週の例会を楽しまれていますか？」

毎週の例会が「楽しい」との意見が多かったです。私の話を30分聞いていただくのが楽しいということなんですが、なかなかいい話ができないので、そのへんのところはご了解願いたいなど。「いいえ」の場合の理由として、「よく眠くなる話がある」という回答がありました。「会員同士の会話が少ない」との意見もありました。

8. 「当クラブの会合をより良いものにするためのアイデアをお聞かせください。」

複数回答で多かったのが「より多くの会員が活躍する機会を増やしてほしい」と「より良い講演者」、「地域社会と交流する機会を増やす」も多かったです。「時間管理をより良くする」についてはゼロでした。

9. 「あなたの配偶者／パートナー／家族はあなたがロータリーに参加していることに関してどのように思っていますか？」

複数回答で一番多かったのが「ロータリーのことをよく知らない」。地区のRLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）に蘆田さんと園田さんが参加されていましたが、私自身も、地区に年間20回ほど出ているのではないかと思います。これは自分のために、自分の自己研鑽のためにいっただけのご理解願いたいと思います。どうしてもクラブから出向しないといけないうわけではなく、自分自身のために行っていますということで返事したいと思います。

10. 「今度あらためてコロナ感染症のような類似した感染症が蔓延した場合の対策と活動について」

多く回答いただいているのが「ZOOM 例会・会議を増やす」ということでみなさん理解していただいているのかなと思っています。3/30に次期幹事研修セミナー(SETS)というのがあり、講演会の中で幹事さんが言われたことなのですが、今もオンラインやハイブリットで例会を開催しているというクラブもございました。私が会長のときにコロナが蔓延して即ZOOM 例会を取り入れたのですが、その後もZOOM 例会という形でやっていったらどうかということもございました。そういうところでまた感染症が流行ってきたら、そのときに考えていただいたらと思います。

11. 「国際ロータリー標準定款、西脇ロータリークラブ定款、細則についてどう思いますか？」

定款、細則に関して勉強会どうですか？という方が13名おられたので、みなさんで勉強する機会、委員会ごとでも結構ですので定款、細則に関して理解されている方と理解しにくいという方で研修会・勉強会をどうでしょうか。クラブとして、園田エレクト、吉田ノミニで考えていただいたらと思います。

12-1 「今後周年事業やIMにおいて、どのような講演を聴きたいですか？あるいは、どのような事業を行いたいですか？」

「地域とともに行う事業」とか、「SDGsに関する取り組み」とか「世界的な規模の話」とかいろいろな意見をいただいています。「少子高齢化」についても話を聞きたいということでしたが、周年事業とかIM、そういうところでまた講師さんなりいろん

なところで考えていったらどうですか。

12-2「例会の卓話はどのような話が聴きたいですか？」

どんな話が聞きたいですか？いろいろ書いていただいております。また参考になるのではないかと思います。ぜひとも皆さん協力していただくようお願いいたします。

13「ロータリー歴を教えてください。」

ぜひ参考にさせていただければと思います。

私自身、アンケートをさせていただいて、意義のあるアンケートだったなと思いますので、ぜひともまた皆さん読んでいただけたらと思っております。

アンケートの結果は以上ということで、次に私の職業についてお話させていただきます。私の仕事は運送事業者で、それも特殊な運送事業者ということで競走馬を運ぶ事業をやっております。ロータリーでは人材派遣事業ということで所属させていただいているんですけど、本来は競走馬の輸送をさせていただいています。

今日 4/1 が新年度の始まりということで、今日午前中からものすごく忙しくしているのは競走馬の輸送以外なのですが、競馬をされる方はよくご存じだと思うのですが、競馬の発走作業ということでゲートに馬を入れてスターターがボタンを押してゲートが開く。そういうゲートの係りがあり、馬をゲートに入れて扉を閉めたり、G1 のレースではよく映る光景なんですけど、1 枠から奇数の番号を先に入れて、一番最後に一番外の枠を入れるんです。この仕事を今年入札で私の会社がやるようになりました。明日から競馬があるのですが、馬をゲートに入れて後ろの扉を閉めてスタートさせて、またゲートを内馬場のほうに引っ張り込んでタイヤの跡等を掃除してきれいにすると。その他誘導場馬の世話、ゲートから 200m 離れたところで白旗振る係りとか、そういう仕事を今年から 3 年間入札取れました。3 年間の契約が 1 億 5000 万円で、契約書の収入印紙が 10 万円いりました。1 万円が 10 枚分の印紙なんです。その印紙を張り付けて契約したのですが、3 年間なん

とか明日から頑張らねばいけないと。長靴は買わないといけないし、ヘルメットをつけないといけないし、プロテクターもつけないといけないし、結構物入りな入札です。そのような仕事も今年から馬を運ぶ以外にもしております。

馬を運ぶ、馬を世話するという仕事を 23~24 歳頃からしております。まず運転手の大型免許書は取れても、馬を扱うというのは実際に馬を触らないうとなかなか慣れてこない。ケガの心配もあったので、そのころは先代も元気で先代が雇ってきた運転手さんからはこの若造がという感じで厳しく指導していただきました。会社に入ってすぐ北海道まで行き、馬を触る修行を 1 年近くしてきました。帰ってくると、馬が触れるようになったということで先輩運転手さんたちから一目置かれるようになりました。自分自身で身に着けたものは結構役に立っているなと思っています。ほかの運転手さんともうまく話をしていけるようになり、事業を展開できるようになっていきました。その後、平成 6 年に代表取締役になり、30 年間やってきました。その平成 6 年の 11 月 30 日に先代の創業者である父親が他界しました。翌年 1 月 16 日が四十九日でした。その次の日 1 月 17 日、みなさんご存じの阪神淡路大震災です。先代が倒れて亡くなって、四十九日までは私たちをみてくれていたと思います。

仕事が全くなくなり、いろいろ悩みながらなんとかやってきたのですが、今年 54 期目になります。今年 70 歳になりますが、今悩んでいるのは自分の代から息子の代に仕事をどのようにクリアしていくのか・事業承継を息子にいろいろ頑張ってもらわないといけないなと思います。まだまだ私自身いろんなことをやってみたい、あれもこれもやりたいと、進んでいます。

70 歳まだまだ若いですよ、高齢者じゃないですよということをアピールしたいなと思っています。みなさんと頑張っていきたい・みなさんにも頑張っていただきたいと思っています。

このへんで終わらせてもらいます。どうもありがとうございました。

今後のプログラム

4月15日(月)「卓話」 戸田会員
4月29日(月) 休会

4月22日(月)「卓話」 藤井治会員、藤井英会員
5月6日(月) 休会

高瀬会長のテーマ：職業人としてプライドを持つ！